CHOFU

工事説明書

マキ焚兼用ふろがま〔薪・油だきふろがま〕

型名 CHC缶
CH_2C缶

型式の呼び	組み合わせ	型　名
CHS-6	かま	CHC缶
	バーナー	SB-76
CH_2S-6	かま	CH_2C缶
	バーナー	SB-76

もくじ

特に注意していただきたいこと …… 2
付属品の確認 …… 6
別売部品 …… 6
外形寸法図 …… 7
据付け …… 8
ふろ配管 …… 9
空だき防止装置の取付け …… 10
煙突の取付け …… 11
据付工事後の点検・確認 …… 12
試運転 …… 12
引き渡し …… 12

●本文中のイラストはCHC缶です。
●機器を据付ける前に必ずこの工事説明書をよくお読みの上、正しく据付けてください。
なお、この工事説明書は工事終了後、取扱説明書と共に必ずお客様にお渡しください。
●製品改良により、本体・仕様などが説明書の内容と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

20760023 (K)

特に注意していただきたいこと

●機器を据付ける前に、よくお読みいただき、正しく据付けてください。
●ここに示した事項は、危害・損害の程度によって次のように分類されます。
いずれも安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠警告	この表示を無視して作業を誤った場合に、作業者またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して作業を誤った場合に、作業者またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

●絵表示について次のような意味があります。

⃠	一般的な禁止	❗	必ず行うこと

⚠警告

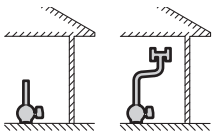
火災予防条例、電気設備に関する技術基準、電気工事はそれぞれ指定の工事店に依頼するなど法令の基準を守ってください

据付けや移動は、販売店または据付業者が行ってください

●お客様ご自身で据付けをされ、不備があると感電や火災の原因になります。

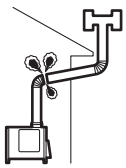
屋内排気禁止

●必ず屋外に排気してください。
排ガスが室内に充満して危険です。



煙突は確実に接続

●煙突は確実に接続し、しっかりと固定してください。
風・振動・衝撃などではずれたりすると運転中に火の粉や排ガスが室内に漏れて危険です。



浴室内の設置禁止

●浴室内には絶対に設置しないでください。酸欠事故・火災・感電の原因になります。

屋内に設置する

●この機器は屋内設置専用です。屋外には設置しないでください。
火災や感電の原因になります。

配線がかま・バーナー・煙突などの高温部に接触しないこと

（バーナーを取付けた場合）
●電源コードやリモコンコードがかま・バーナー・煙突などの高温部に接触しないように配線してください。火災や故障の原因になります。

⚠警告

煙突は当社指定のもの(H型トップ)を必ず使用する

●指定外のものを使用した場合は、火災の原因になります。

⚠注意

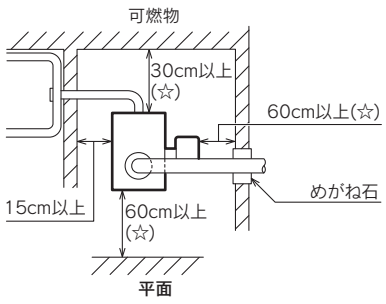
次の場所には据付けない（火災や予想しない事故の原因）

●水平でない場所、不安定な場所
●不安定な物を載せた棚などの下
●可燃性ガスや腐食性ガスの発生する場所、または
たまる場所(マンホールや排水口などに近い場所)
●燃焼に必要な空気を取入れる空気取入口のない場所、
または換気の行えない場所
●付近に燃えやすいものがある場所
●階段や避難口などの付近で避難の支障となる場所
●湿気の多い場所
●排水しにくい場所
●雨水のかかる場所
●屋外
●浴室

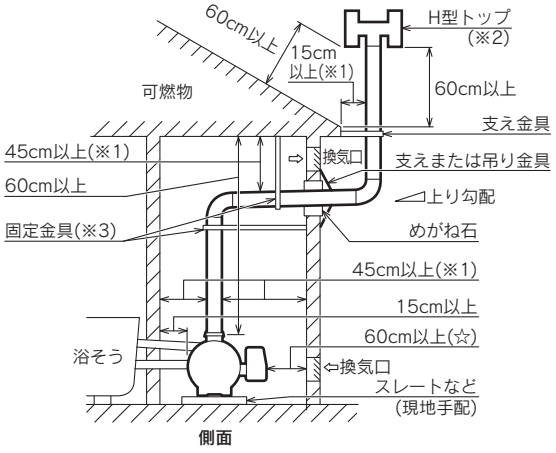
可燃物との距離を離す

●機器の周囲に可燃物がある場合は、図の離隔距離を守ってください。
防熱板、不燃材の場合は離隔距離が緩和されますので、各地域の火災予防条例を参照してください。(図はバーナーを取付けた寸法です。)
●機器は金属製以外の不燃材(スレートなど)の床上に据付けるか、または防火上有効な措置を講じた金属製の台上に据付けてください。

■標準据付例



平面



側面

(※1)煙突は機器から180cm以内では45cm以上、180cmを超える場合は15cm以上離すこと。
(※2)煙突の先端から水平距離1m以内に建築物の軒があるときは、その軒から60cm以上高くすること。
煙突の先端から1m以内に建物の開口部(窓)がないこと。
(※3)煙突は固定金具で1.5～2m間隔で固定し、自重を支える部分は支えまたは吊り金具で堅固に支持すること。
固定金具を2本以上使って、煙突が抜けたり倒れたりすることのないように固定すること。
(☆)印の寸法はサービススペースとして必要な寸法です。

特に注意していただきたいこと

⚠注意

換気口を設置する

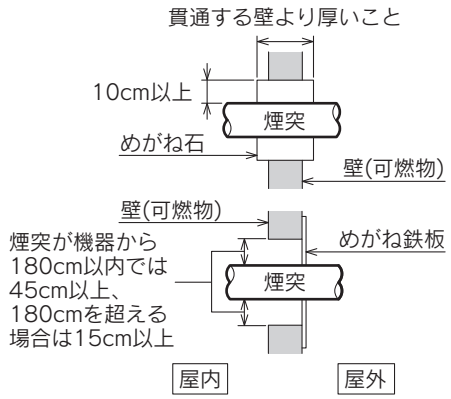
●屋内やボイラ室に設置するときは燃焼に必要な空気を充分確保するため、上下2箇所に換気口を取付けてください。換気口の有効開口面積はそれぞれ260cm²以上です。ガラリを取付けたときは、ガラリの種類に応じて有効開口面積に表の数値を乗じたものを最小面積とします。

スチールガラリ	2.0
木製ガラリ	2.5
パンチングパネル	3.4

〔例〕スチールガラリを取付けた場合
260cm²×2.0＝520cm²以上
が2箇所です。

家屋貫通部の注意

●煙突が可燃性の壁などを貫通する部分は、必ずめがね石かめがね鉄板を使用してください。
●小屋裏・天井裏などにある部分は、金属以外の不燃材料で防火上有効な被覆を行ってください。
●可燃性の壁・天井・小屋裏・天井裏などを貫通する部分およびその付近では、煙突を接続しないでください。
●地域により異なることがありますので、各地域の火災予防条例を参照してください。



煙突の固定

●煙突は風や振動などで倒れないよう、支え金具や支え線などで固定してください。
●煙突は固定金具で1.5～2m間隔で固定し、自重を支える部分は支えまたは吊り金具で堅固に支持してください。
●機器に通風調節器と煙突をねじ(3本)で固定してください。

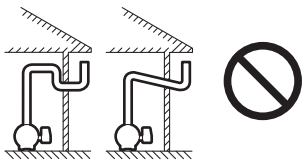
煙突の交換

●機器交換時には煙突・煙突トップ(Hトップ)・固定金具も交換してください。
●異径煙突は使用しないでください。

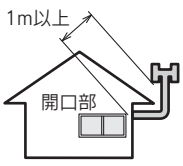
煙突の点検

●煙突の取付けが終わりましたら、もう一度点検してください。次のような取付けは危険であったり、不完全燃焼のおそれがありますので、必ず修正してください。

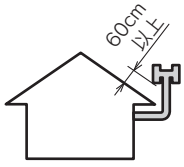
下り勾配、下向き曲がり禁止



トップと建物(隣家を含む)の開口部(窓など)は1m以上離れていること



トップは屋根から垂直距離で60cm以上離すこと



⚠注意

換気扇や換気システムの吸込口付近には、機器本体および煙突を設置しない



●排ガスを室内に吸い込み、健康を害するおそれがあります。

他社製品や指定以外のかまとバーナーの組み合わせで設置しない（事故の原因）



●ふろがま（かま・バーナー）は必ず当社のカタログ・取扱説明書・工事説明書に記載している正しい組み合わせで使用してください。
バーナーをはずして、他社のかまにセットしたり、ふろがま以外の目的に使用しないでください。

作業時は保護具を着用する



●作業時は手袋などの保護具を着用してください。けがの原因になります。

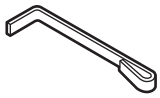
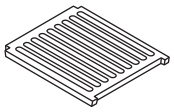
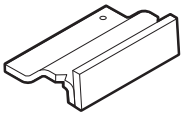
家庭用以外の使用禁止



●この機器は家庭用です。家庭用以外に使用すると保証の対象外になります。

付属品の確認

●梱包されている付属品に不足がないことを確認してください。

			
灰出し棒	ロストル (CHC缶 …2個 CH_2C缶…1個)	ロストル受板	ゴムエルボ (2個)
			
ワイヤークランプ (4個)	通風調節器	通風調節器用 タッピンねじ (3本)	取扱説明書 (保証書付) 工事説明書
			
プラグ(1/2B) ※			

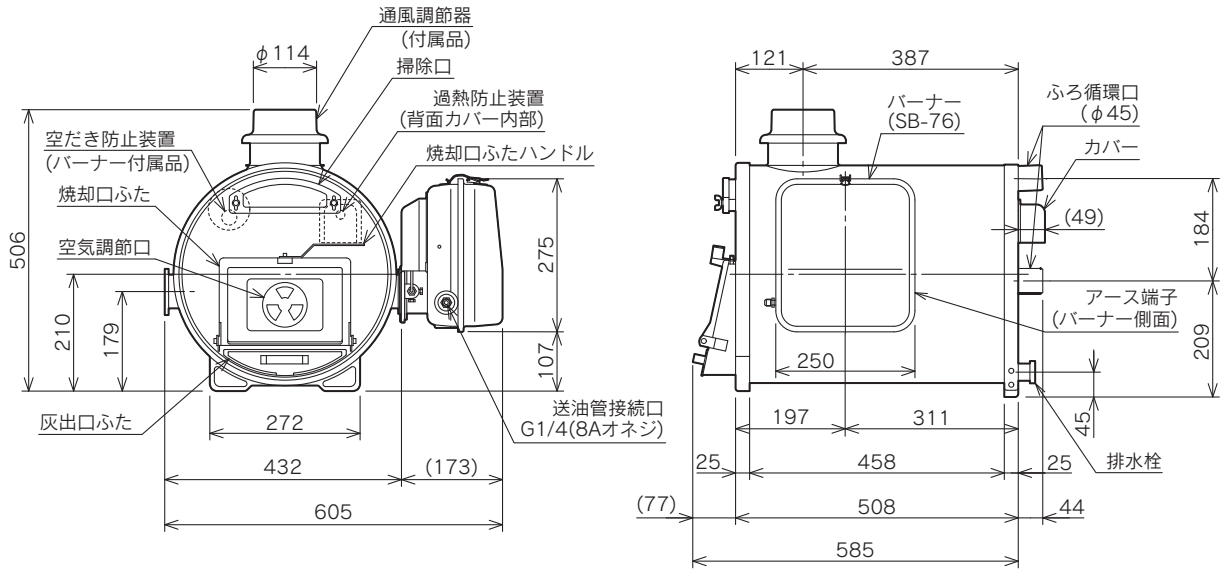
※バーナーを取付けない場合に使用します。

別売部品

●ストロングパイプ　●煙突セット

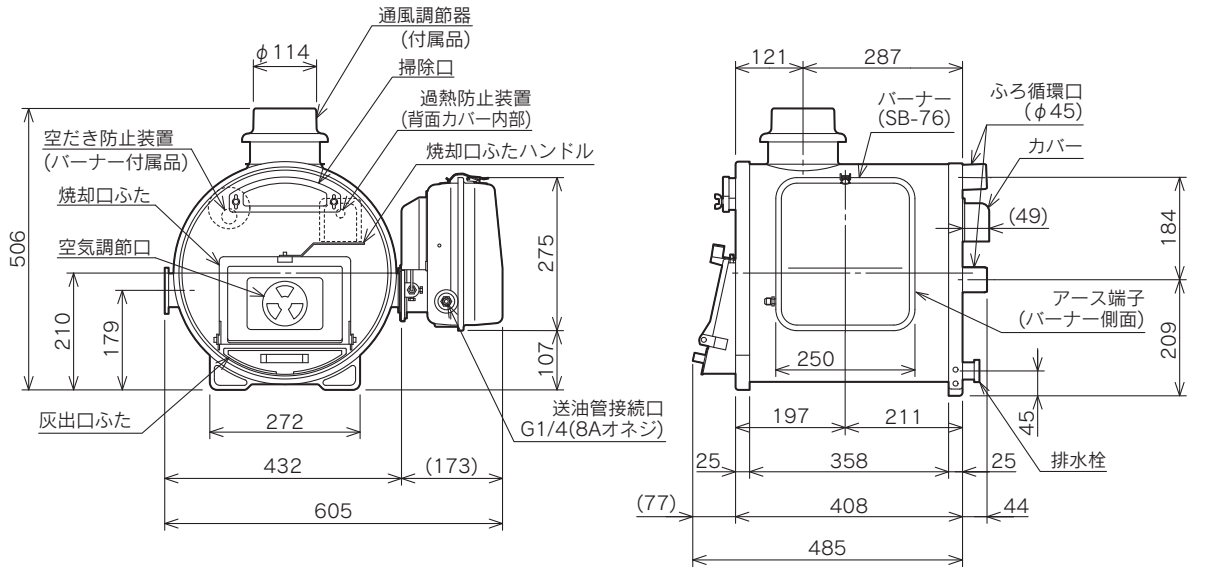
外形寸法図

●CHS-6



※バーナーはふろがまの左側にも取付けることができます。　　(単位：mm)

●CH$_2$S-6



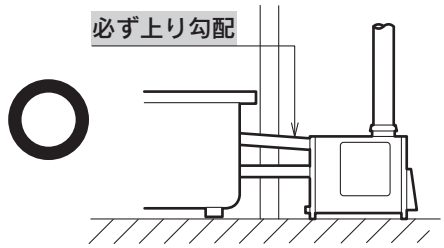
※バーナーはふろがまの左側にも取付けることができます。　　(単位：mm)

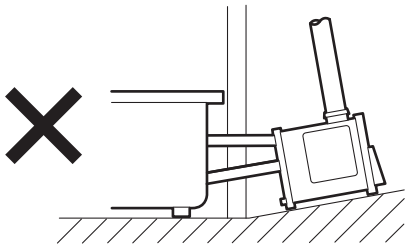
据付け

「**特に注意していただきたいこと**」の項も必ず確認してください。

機器の設置

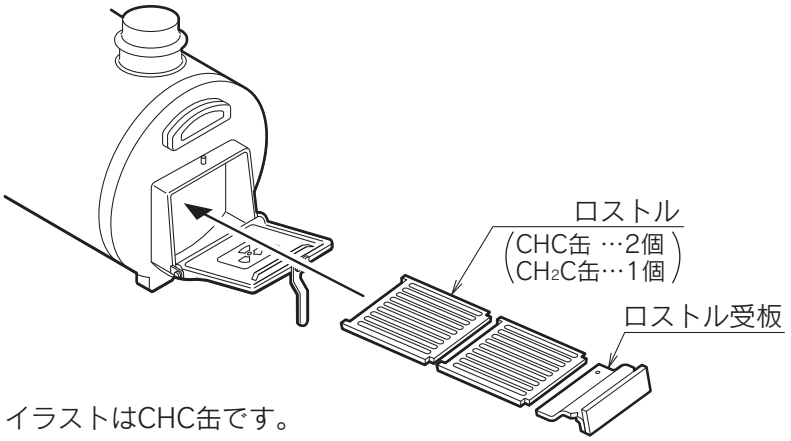
●機器は必ず水平に置かれていることを確認してください。
（水準器などで確認してください。）
●機器をコンクリートなどで埋め込まないでください。
●設置床面は凹地にしないでください。
水やゴミがたまって機器の不具合の原因になります。
●循環パイプが浴そうに向かって上り勾配になるように配管してください。





焼却口側が高くなると空だき状態になり、火災・過熱・水漏れの原因になります。

●ロストルとロストル受板を取付けてください。
焼却口ふたを開いてロストルとロストル受板を取付けます。



イラストはCHC缶です。

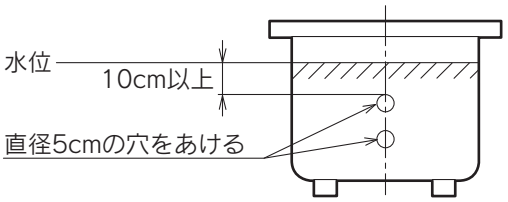
ふろ配管

1 接続金具(別売部品)の接続

1.直径5cmの穴を2箇所あけます。

●下側の穴は浴そうの側面の曲面部にかからない、できるだけ低いところにあけてください。

●上側の穴はふろがまから浴そうに向かって必ず上り勾配で、浴そうの水位が上側の穴の上端から10cm以上になる位置にあけてください。



2.浴そう内側と外側から接続金具をしっかりと取付けてください。

2 ふろ配管の接続

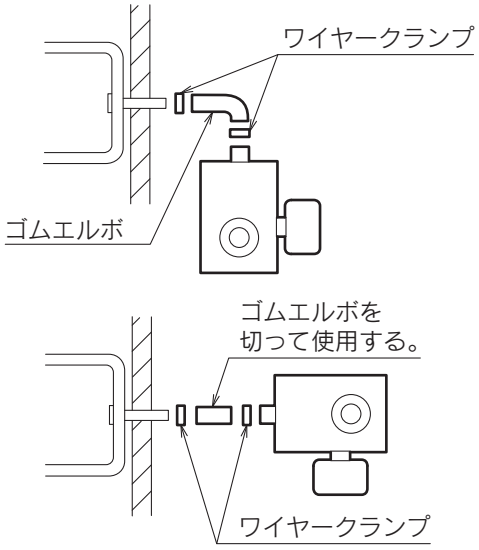
●付属品を図のように組み立てて機器に接続します。

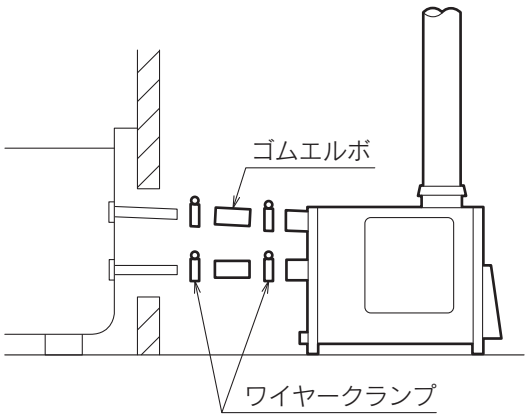
●この機器にはふろ循環口が2箇所あります。

1.ゴムエルボの両端にワイヤークランプを通します。

2.浴そうからの循環パイプと機器の循環口にワイヤークランプを通したゴムエルボを差し込みます。

3.ワイヤークランプでゴムエルボをしっかりと固定します。
(試運転時にパイプが温まってから増し締めしてください。)





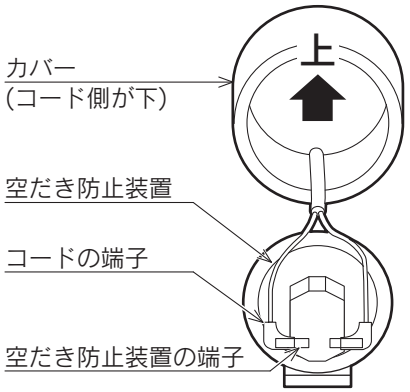
空だき防止装置の取付け

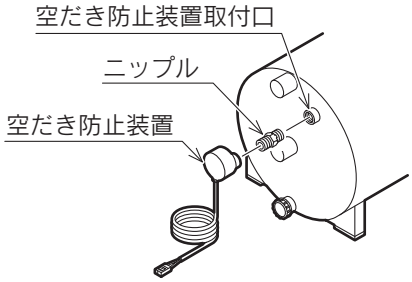
⚠注意

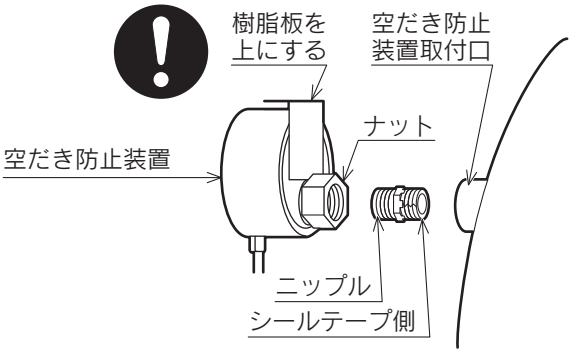
●空だき防止装置を取付けるときは必ずスパナでナットを回してください。
絶対に空だき防止装置を持って回さないでください。
●空だき防止装置は図のように上下を確認して取付けてください。

●空だき防止装置とニップルはバーナーに付属されています。

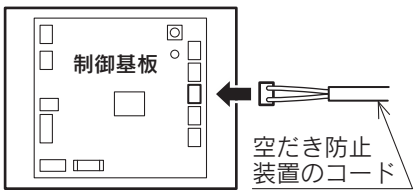
1.空だき防止装置のカバーをはずします。
（梱包時はナットが内側になっています。）
2.カバーの内側から出ているコードの端子を空だき防止装置に接続します。
（端子は無極性ですので＋－はありません。）
3.カバーの上下（コード側が下）を確認して、樹脂板が上になるように空だき防止装置の端子側をカバーの中に入れます。
4.空だき防止装置取付口にニップル（シールテープ側）を取付けます。





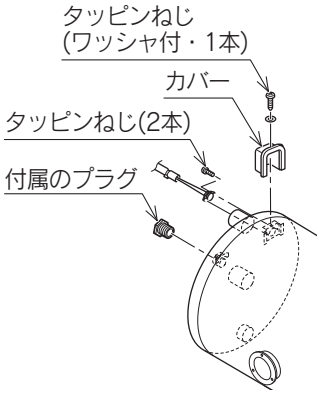


5.空だき防止装置を空だき防止装置取付口のニップルに樹脂板が上になるように接続します。
6.空だき防止装置のコードをバーナーの配線取出口から内部に入れます。
7.空だき防止装置のコードのコネクタを制御基板のコネクタに接続します。



バーナーを取付けないで使用する場合

1.空だき防止装置取付口に、付属のプラグ（1/2B）を取付けます。
2.過熱防止装置のカバーのタッピンねじ（ワッシャ付・1本）をはずし、カバーを取りはずします。
3.過熱防止装置のタッピンねじ（2本）をはずし、過熱防止装置を取りはずします。
4.カバーを元通りに取付けます。



煙突の取付け

「**特に注意していただきたいこと**」の項も必ず確認してください。

●この機器には必ず煙突を取付けてください。
●できるだけ横引きは避けてください。

煙突の径

●煙突の径はφ115mmです。
途中で細くしないでください。

煙突トップの形状

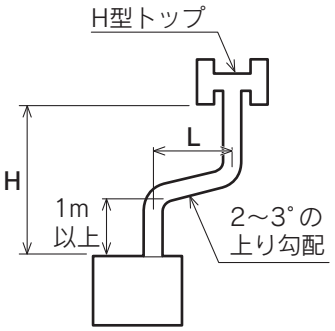
●煙突トップは必ずH型トップを使用してください。

煙突の高さ

●煙突の高さは、次の式から基本の高さを算出し、さらに各地域の火災予防条例などを参考にして決定してください。次の項「**煙突トップの位置**」も参照してください。
●バーナーを使用しないときは、自然通風を利用しますので、直立部は3m以上にし、横引きがある場合は「**横引きの長さの1/2**」を直立部に加えてください。

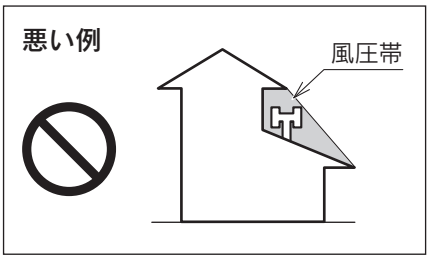
基本の高さH(m)≧3+L/2+(0.8×曲がりの数)

●曲がりの数は2箇所以内にしてください。



煙突トップの位置

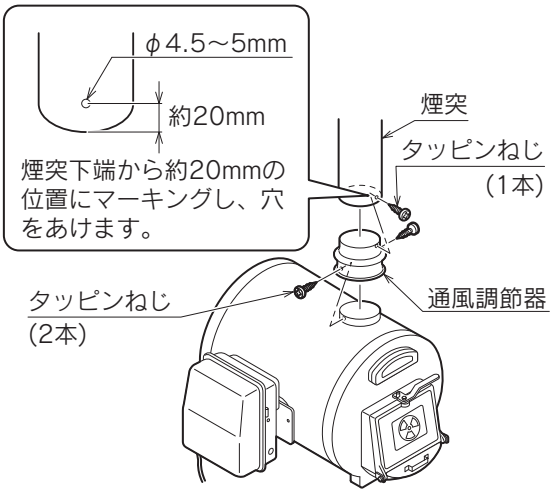
●煙突の先端から1m以内に建物の軒がある場合はその軒から60cm以上高くしてください。
●煙突の先端から1m以内に開口部(窓)がないようにしてください。
●H型トップは必ず風圧帯の中に入らないようにしてください。



煙突の接続

●機器と煙突は次の要領で接続してください。

1.機器のねじ穴に通風調節器の穴を合わせて、付属のタッピンねじ(2本)で固定します。
2.通風調節器のねじ穴に合わせて、直径4.5～5mmの穴(1箇所)を煙突にあけます。
3.通風調節器に煙突を差し込んで、付属のタッピンねじ(1本)で固定します。



集合煙突利用の禁止

●煙突は絶対に集合煙突に接続しないでください。

据付工事後の点検・確認

●据付工事が終わりましたら、もう一度確認してください。

機器およびその周辺

●設置条件を満たしていますか。
●可燃物との距離および防火上の処置は充分ですか。
●機器や配管の接続部に水漏れはありませんか。
●点検・修理など保守・管理上必要なスペースがありますか。

試運転

●試運転は必ずお客様とご一緒に行ってください。

1 試運転

●取扱説明書の「**使用方法**」に従って、試運転を行ってください。
●バーナーを使用するときは、バーナーに付属している取扱説明書の「**据付け**」の「**試運転**」に従い行ってください。
（パイプが温まってからワイヤークランプを増し締めしてください。）

2 お客様がすぐに使用されない場合

●試運転後、機器や配管内に残った水をお客様が使用されるまで放置すると、凍結して機器が破損したり、機器内の水が変質したりすることがあります。必ず水を抜いてください。
（取扱説明書参照）

引き渡し

お客様への説明

●取扱説明書に従い取扱方法をお客様に説明してください。
●保証書に必ず必要事項をご記入のうえお客様にお渡しください。
（保証書は取扱説明書の巻末です。）
また、取扱説明書に従って「**アフターサービス**」について説明してください。

所有者登録（バーナーを取付けた場合のみ）

●この機器は消費生活用製品安全法の『**特定保守製品**』に指定されています。
●お客様に「**法定説明事項**」をご説明の上、**所有者登録〔所有者票（はがき）の返送〕**について説明してください。

住宅設備機器総合メーカー
株式会社 長府製作所 CHOFU

本社 〒752-8555 山口県下関市長府扇町2-1 TEL(083)248-1111 FAX(083)248-1906